

ゴールボール ルール

【競技の流れ・基本ルール】

5名の選手が、司令塔1名とプレイヤーに分かれて相手チームと攻守を繰り返し、ゴールした得点を競うパラスポーツです（交流戦は1試合3分とします）。プレイヤーは目隠しをします。

1. 先攻・後攻を決める（司令塔によるじゃんけん）。

後攻となったチームは、どちらのコートにするか選択権を得る。

2. プレイヤーの配置を決め、目印マットを置く。司令塔はエンドラインより後ろへ下がる。

3. 攻守を繰り返す。プレイヤーがボールを止めたとき、司令塔はエンドラインを超え、ボールを止めたプレイヤー以外のプレイヤーに渡し、投げさせてよい。なお、相手チームのエンドラインに到達すればゴールとなり、失点した側の攻撃から再開する。

4. 制限時間で得点が多い方が勝利。なお、制限時間で同点の場合は1分間サドンデスとし、それでも同点の場合は抽選により勝敗を決定する。

※必ず室内用運動靴を着用すること。

※選手は他のチームと重複は不可。

※小学生のみで編成されたチームと対戦するチームは、ハンデとしてプレイヤーを1名減らしてプレーとする。

≫攻撃時の注意

- 目印マット上から、座った状態（立ち膝可）でボールを転がす。ボールは必ず下手投げとする（片手、両手は自由）。また、守備に触れずにサイドラインを越えたら相手ボールから再開する。

なお、ノーバウンドでセンターラインを越えた場合や、審判が横手投げ及び上手投げと判断した場合は、ペナルティとして相手に1点与える。

≫守備時の注意

- 目印マットから出てボールを止めてもよいが、ゴールを完全に妨害するプレー（全員が横たわる等）はペナルティとして相手に1点与える。

【その他】

- 基本ルールで明記していること以外で問題が発生した場合は、主管であるスポーツ推進委員で協議し決定します。
- 競技中の質問についてはチーム名を告げ、代表者のみが行う事が出来ます。
- 交流戦では参加チーム数に応じ、リーグ戦もしくはトーナメント戦で順位を決定します。
- 審判の判定に対するクレーム等は一切認めません。